

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	一般事務	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	------	-----------

事業名	137	公平委員会事務局経費	区分	01	一般会計
基本施策	99	対象外	コード	02	総務費
施策			項目	01	総務管理費
			目	11	公平委員会費
			細目	121	公平委員会事務局経費
			細々目	01	公平委員会事務局経費
基本計画該当			担当部課	10100	総務課
行革大綱の重点事項番号			コード		
			名称		
			評価者氏名	岡部 隆次	連絡先 22 - 9601 (内線) 2310

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	伊賀市職員 (対象件数)	成果(どうなるのか)	職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分の適正化が図られる。
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	地方自治法、地方公務員法、伊賀市公平委員会設置条例、伊賀市公平委員会規則等
本年度事業内容			状況変化等	・職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分の審査 ・公平委員会委員の事務研修

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	() 人
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
公平委員会の開催	回	実績 0	目標 1	1	1
公平委員会委員の事務研修	回	実績 4	目標 3	2	2
		目標	実績		
		実績	目標		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
			目標	目標		
			実績	実績		
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性		
有効性		
達成度	2	当初設定した公平委員会の開催及び公平委員会委員の事務研修が計画どおりできなかった。
効率性	3	最少の経費で最大の効果を得るという視点から、事例があれば、公平委員会の集中審査を行う必要がある。

総合評価

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
	現状維持	最少の経費で最大の効果を得るという視点から、事例があれば、公平委員会の集中審査を行う。公平委員会委員は、事務研修会へ積極的に参加する。

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容				
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額		
委託	⇔	旅費		(千円) 636	旅費		(千円) 143	報酬		(千円) 159	報酬		(千円) 159		
		需用費		22	需用費		5	旅費		260	旅費		260		
		負担金、補助及び交付金		144	負担金、補助及び交付金		139	需用費		30	需用費		30		
								使用料及び賃借料		4	使用料及び賃借料		4		
									97	負担金、補助及び交付金		97			
進捗率 (%)				事業費計(A)		802	事業費計(A)		287	事業費計(A)		550	事業費計(A)		550
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.1	人 720	人件費(B)	0.1	人 720	人件費(B)	0.1	人 720		
フルコスト (A)+(B)				2,242			1,007			1,270			1,270		

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	802	287	550	550
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	802	287	550	550
	計	802	287	550	550
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				